

局の動き

農林 水産部

紅いも蒸熱処理施設が読谷村に完成

去る5月24日に、読谷村字高志保に所在する「農業生産法人アグリよみたん苑」の蒸熱処理施設が完成し、本施設により処理された紅いもの初荷式が行われました。

沖縄県においては、本土に未発生のイモソウムシ等の特殊な病害虫が発生していることから、県産のかんしょは、本土への出荷が規制されています。

しかしながら、今回完成した蒸熱処理施設(農業生産総合対策事業により導入)で47~48の蒸熱処理を行うことにより、かんしょを生いもとして



本土出荷することが可能となりました。

初荷式においては、沖縄総合事務局農林水産部国吉総務調整官より「蒸熱処理施設の完成を契機として、かんしょの生産振興が図られることを期待します。」とのあいさつがありました。

また、初荷式に続いて、「いも白書--2001年紅いも関連事業今後の発展」と題する記念講演会が梅村芳樹氏(日本いも類研究会会长)により行われ、今後の読谷村における紅いもの生産振興や販売戦略等について述べされました。

今回の読谷村における取組みを契機に、県内におけるかんしょの生産振興が図られることが期待されています。

財務部

「予算・決算関係事務研修会」を開催



財務部主催の「平成13年度各府省地方支分部局等予算・決算関係事務研修会」が6月12日に沖縄総合事務局3階大会議室で開催されました。

この研修会は国家機関の地方支分部局及び各府省から委任を受けて国の会計事務を処理する地方公共団体で会計事務に従事する職員を対象に、予算の執行及び決算関係事務のより一層の適正化、資質の向上を期するための基礎的知識等の修得、決算検査報告の指摘事項の周知徹底を行なうことを目的に開催したものです。

講師には財務省主計局司計課課長補佐 岩永久夫氏を迎え20官署から27名が受講しました。

岩永講師からは「予算・決算制度」及び「会計検査院の指摘事項」として、予算・決算事務の制度やその機能、国会における決算の審議議決の状況、及び会計検査の指摘事項等を具体的に事例を示して説明があったほか、当部からは、盛根財務課長が「財政の現状と今後のあり方」として、平成13年度予算の概要と公債残高累増に伴う今後の問題点等についての説明がありました。

総務部

尾身幸次 沖縄及び北方対策担当大臣来沖

尾身幸次 沖縄及び北方対策担当大臣が6月に2回来沖されました。

就任後初めての来沖は6月3日から4日の日程で、3日夜に那覇空港に到着し、4日早朝から仲村正治副大臣とともに国立戦没者墓苑の参拝、沖縄県知事及び沖縄県議会議長との懇談、市町村4団体代表との懇談等、嘉数高台公園からの普天間飛行場視察、グレノン第3海兵師団長との面会、キャンプ・シュワブから名護市辺野古地区・沿岸域視察等を行い帰任されました。なお、6月4日午後、尾身担当大臣は沖縄総合事務局を訪れ、「省庁再編に伴って沖縄総合事務局の役割も重要なになってくるし、今まで通りではいけない部分も出てくると思う。自覚と努力をお願いする」と職員を激励しました。



また、6月22日から24日には就任後2回目の来沖を行いました。22日夜に那覇空港に到着し、23日の慰靈の日には小泉総理とともに沖縄全戦没者追悼式典に御出席され、小泉総理をお見送りした後、那覇空港ターミナル、沖縄産業支援センター、那覇港浦添地先を視察されました。24日には、中城湾港新港地区等、名桜大学を視察して、名護市議会正副議長、琉球大学学長と懇談し、糸満ハーリー、識名園を視察後、帰任されました。

局の動き

運輸部

「自動車アセスメント」の提供について

国土交通省とその認可法人自動車事故対策センターでは、平成13年4月17日に平成12年度版「自動車アセスメント」を公表しました。

平成12年度は、新たにオフセット前面衝突試験を追加し、従来からのフルラップ前面衝突試験及び側面衝突試験を加えて、世界で初めて、3種類の衝突試験結果による衝突安全性能総合評価を実施しました。

なお、この「自動車アセスメント」には、自動車の購入及び使用に際しての参考となるように、市販の国産、輸入乗用車のエアバッグ、サイドエアバッグ、アンチロック・ブレーキ・システム(ABS)、チャイルドシート固定機能付きシートベルト等の安全装置の装備状況、これらの安全装置の正しい使い方、国内メーカー8社24車種の高速ブレーキ性能、フルラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験及び側面衝突試験の安全性能、さらに3種類の衝突試験結果による衝突安全性能総合評価が掲載されています。

この「自動車アセスメント」の小冊子及びパンフレットの入手方法は、最寄りの沖縄総合事務局運輸部陸運第二課

TEL:098-862-1453
陸運事務所検査部門

TEL:098-877-5111

宮古支所 TEL:09807-2-4990

八重山支所 TEL:09808-2-4772

又は自動車事故対策センター沖縄支所

TEL:098-862-8667

にお問い合わせ下さい。



開発建設部

羽地ダムの湖底で「鯉のぼり祭り」を開催



去るGWの5月3～5日の3日間にかけて名護市に建設中の羽地ダムにおいて「羽地ダム鯉のぼり祭り」(主催:羽地ダム鯉のぼり祭り実行委員会(地元) 共催:羽地大川ダム対策委員会 後援:沖縄総合事務局、沖縄県、名護市)が開催されました。

この鯉のぼり祭りは例年「羽地大川鯉のぼり祭り」として羽地大川沿いに会場を設置し開催されてきましたが、今年からは羽地ダムへ会場を移し「羽地ダム鯉のぼり祭り」として開催されました。

羽地ダムは今年7月から試験湛水を開始する予定であり、これまで地域の皆様が慣れ親しんだ羽地大川がダム湖に生まれ変わる前にこれまでの思いとお別れという趣旨を含め、主会場を湖底に設けました。祭り会場周辺には約千五百匹の鯉のぼりが大空を泳ぎ、湖底の特設ステージではコンサートなど各種イベントで盛り上がり、祭り期間中で約4万人の人出がありました。

羽地ダムは、現在本体工事が終了し、ダム周辺の整備を進行中で、2004年度に完成する予定です。完成すると有効貯水量1,920万トンで福地ダムに次ぐ規模となり、県民への水需要の安定供給、治水、地域振興に寄与することになります。

経済産業部

沖縄地域産業立地推進協議会について

去る5月31日、平成13年度沖縄地域産業立地推進協議会総会が開催され、平成12年度の事業・決算並びに平成13年度の事業予算が了承されました。

沖縄地域産業立地推進協議会(以下「沖産協」)は、沖縄地域への企業誘致促進を主な目的として沖縄県、市町村、団体、企業の18機関(現在19機関)を構成員として平成2年度に設立されました。

沖縄県内には現在、工場適地及び工業団地が合わせて13ヶ所、面積で約600haあります。また、平成10年3月に施行された改正沖縄振興開発特別措置法では、新たに特別自由貿易地域、情報通信産業振興地域、観光振興地域制度が創設され、企業立地環境が一層、整備されてきております。

沖産協では、これまで沖縄地域への企業誘致を促進するため、日本語、英語、中国語による沖縄企業立地情報マップを作成し、APEC投資博覧会及び外資系企業対日投資・立地促進セミナーへ参画するなど沖縄地域の産業立地情報のPRに努める他、会員による全国の産業支援施設、先進企業の視察研修など企業誘致のための知見・ノウハウの蓄積等を行ってきました。

平成13年度は、沖縄企業立地情報マップのホームページ化や外資誘致ワーキンググループによる研究活動等、企業誘致推進をはじめとした種々の事業が行われる予定です。